

TJM3002 / TJM3003

マルチスポーツフロア



製品標準施工要領・メンテナンス手順

改定日：2023年10月1日

1. 保管方法
2. 事前の確認
3. 下地工事に関する留意事項
4. 仮置き
5. 接着
6. 溶接
7. ラインペイント
8. 引渡し前のクリーニング
9. 日常的なクリーニング



製品に関するお問い合わせ

製品お問い合わせ窓口へ

お問い合わせください。

コンシューマ事業部

0791-62-0088

土日祝日を除く 10:00~18:00

KLASS株式会社

〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190

本施工要領書に基づいて作業をお願いいたします。

万が一、商品に不具合が発見された場合は、速やかに弊社までご連絡ください。

<施工上の特性>

(1) マルチスポーツフロアはビニル素材のため、以下の注意が必要です。

・急激な温度変化により寸法変化しやすくなります。特に高温時に伸びやすいためご注意ください。

・低温時はシートが硬くなり、巻き癖が取れにくく、なじみが悪くなります。

温めてから施工するとなじみやすくなります。

(2) ロールの状態で施工現場に搬入されますので、巻き癖が残りがやすくなります。

(3) シート状で目地が少ないので、下地を密封し、下地の湿気が逃げにくくなります。接着剤の溶剤の揮発を妨げ、膨れやたわみの原因になりますので、接着剤のオープンタイムを必ず設定してください。

1. 保管方法

(1) ロールは直立した状態で保管する必要があります。ロールを積み重ねないでください。

(2) 溶接棒は、床材と同じ条件で保管してください。

(3) 製品は、涼しく、乾燥し、換気の良い密閉された場所に保管する必要があります。

温度 10～30℃、湿度 40～70%が望ましいです。

(4) ほこりや紫外線にさらされない場所に保管してください。屋外で保管しないでください。

(5) 暖房下で保管する場合は、熱源から少なくとも 1メートル離してください。

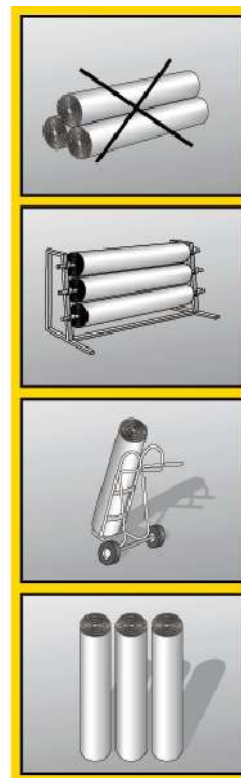
(6) 製品は直射日光や紫外線に当たらないようにしてください。

(7) 製品は、ストレスにさらされることなく保管および処理する必要があります。

過度な張力、圧力は、変形や亀裂の形成する可能性があります。

(8) 安全に運べる数量以上を持ち上げないでください。

設置前の乱暴な取り扱いによって損傷する可能性があります。



2. 事前の確認

(1) 作業を始める前に床材をチェックして、正しいパターンと色であることを確認してください。

また、数量に間違いがないことを確認してください。

(2) 明らかな欠陥を発見した場合は、作業を続行せず、弊社まで連絡してください。

目に見える欠陥のある素材を取り付けたり、切断したり、はめ込んだりしないでください。

3. 下地工事に関する留意事項

(1) 施工下地は、乾燥し、きれいで、滑らか且つ水平な状態に仕上げてください。

(ジョイント部の隙間・段差の原因となります。)

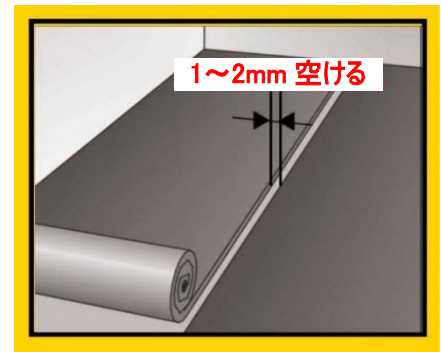
(2) モルタルかす、ホコリ、ペンキ、油類などが付着していないことを確認してください。

(3) 古い下地に残る接着剤等は、完全に取り除いてください。

- (4)下地の目地、ひび割れ、ギザギザ等がある場合は、補修用モルタルで手直ししてください。
- (5)pH テストを実施し、pH 値が9 以上であれば施工工事を始めるまでに中性化してください。
- (6)下地工事の終了後は、敷設作業までの間、カバー等で養生してください。

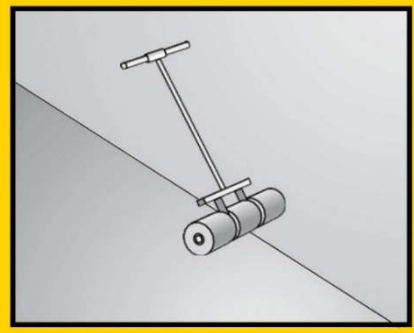
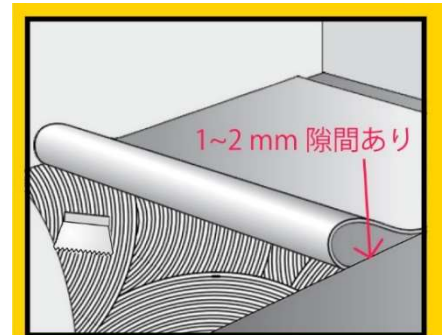
4. 仮置き

- (1)床地に中心線をマークし、中央からロール敷設を開始します
- (2)ロール同士の接合部は、1～2mm の隙間を空けてください。
(右図参照)
壁や柱の周り、パイプなどは 5～10mm の余裕を残し、
必要に応じて端を切り直します。
- (3)仮置きの状態を 24 時間維持し、現場の環境になじませてください。



5. 接着

- (1)接着剤は、専用の一液性ポリウレタン接着剤（ルビロン 101、トーヨーポリマー社製）を推奨します。使用量は、約 400～450g/m²が目安です。
- (2)クシ目小手にて接着剤を広げ、オープンタイム※経過後、40 分以内を目安に、ロール敷設を完了してください。
※夏季：10～20 分、春・秋季：10～20 分、冬季：20～30 分
- (3)敷設直後にローラー等で十分に転圧してください。
転圧の方向は最初に短手方向とし、次に長手方向に行ってください。
シート下に空気溜りがある場合はローラーで抜き取り、1～2 時間後に再度転圧してください。
- (4)最初のロールを貼り合わせたら、次のロールを折り曲げ、接着剤を広げます。接着剤がジョイント部分から表面に溢れないよう、均一に広げてください。
- (5)接着作業終了後、少なくとも 24 時間は養生期間をとり、ロール上を歩いたり、物を置いたりしないでください。



※床下暖房の上に設置する場合

- (1)床暖房システムは、床カバーの設置を開始する 48 時間前にオフにしてください。
- (2)設置が完了してからも 48 時間はオフのままにしてください。
ヒートパイプ上のコンクリートベース層の高さは最低 45mm、60mm を推奨します。

6. 溶接

(1) 接着剤が十分に乾燥するまで（24 時間以上）養生してから溶接作業を行います。

(2) 溝切カッターを用いて、表層床材の 1/3 を U 字にカットします。

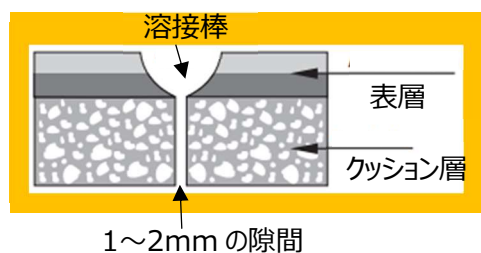
（右図のように、シート同士の隙間は 1～2mm です。）

溶接機を使用し、専用溶接棒（直径 4.5mm）を熱溶接します。

圧力をかけ、**溶かした溶接棒を 1～2mm の隙間に押し込むイメージ**で流し込んでください。

(3) 余盛り部分はスペーサーを使用し、スパトラナイフなどでカット、1 回目の粗切りを行います。

(4) 十分に冷えてから 2 回目の仕上げカットを行います。



7. ラインペイント

競技用のラインを塗装する場合、塗料の要領に基づいて塗布してください。

ラインテープを張る場合も同様です。

8. 引き渡し前のクリーニング

(1) 汚れ、ほこり、砂、小石などは、ほうきやモップ等できれいに取り除いてください。

(2) 中性洗剤（pH 値 7～9、リンレイ社製の『New プロインパクト中性』等）を約 15 倍に薄め、柔らかいナイロンブラシやパッドにつけてクリーニングを行ってください。

(3) 床面が乾燥する前に、きれいな水と水吹き用モップで洗剤をふき取ってください。

9. 日常的なクリーニング

(1) 汚れ、ほこり、砂、小石などは、ほうきやモップ等できれいに取り除いてください。

(2) 中性洗剤を約 50 倍に薄め、柔らかいナイロンブラシやパッドにつけてクリーニングを行ってください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を約 10 倍に薄めて使用してください。

(3) 床面が乾燥する前に、きれいな水と水吹き用モップで洗剤をふき取ってください。